

モンゴルの輸出を伸ばす経済発展戦略

モンゴル発展研究院学術統括官 L. ツェデンダンバ

(要旨)

モンゴル政府は、学者、政治家、一般市民の幅広い参画のもと、国家ミレニアム開発目標に基づいた「包括的国家開発戦略2007-2021年」を作成し、2008年1月31日に議会決議第12号で採択された。

包括的国家開発戦略では、輸出促進戦略に基づいた経済部門の成長戦略の目標と目的を定義している。例えば、鉱業部門では、戦略的鉱床オユトルゴイの銅・金、タバントルゴイの石炭を先端技術を使って開発することにより、輸出指向型知識ベースの経済確立のための資本蓄積と財政的潜在力の向上を目的とする。加工産業は、世界市場で競える最終商品の製造産業の発展を目指す。農業では、生産量の増加、加工の深化、家畜由来商品の輸出増加を目指す。観光業部門は、人口と並ぶ数の観光客誘致のため、サービス部門に基づいて輸出を拡大することを目的とする。

本稿では、前世紀の後半から今日までの間に、世界各国で導入されている経済発展戦略の調査結果に基づいて、輸出促進のための経済発展戦略実施の必要性と可能性を究明することを目的とする。また、包括的国家開発戦略の枠組みの中で、輸出促進による経済発展戦略の本質と期待される結果の指標の分析を基にした戦略実施促進のために取るべき優先措置を提案する。

[英語原稿をERINAにて翻訳]